

ところがこの病気がよくなると皮膚病であるため、新陳代謝が悪くなり腎臓病を併発してくるのだそうです。

その後いつの間にか足がだんだんはれ、膝から下がむくんで来るのです。あるとき友人の安田義貞君（安田銀行の総務部長でやめた人）がこれを見て、「君は運動不足だからそんなにはれる」というのです。それで私もそうかと思い、ようし、それならばといつてある日の夕方から彦山という山にひとりで登ったのです。その山はどのくらいの高さがあるのでしょうか、長崎では一番高い山です。そこに登ったのです。日が暮れかかるので帰りには山の上から走って下ったのですが、そのとき腰が痛むのです。どうしたわけかわからないのですがとにかく腰が痛むのです。しかしそんなことは少しもお構いなしに、どんどん走って下ったものでした。

ところが尿に血がまじって出たのです。それでびつくりして宮崎先生にみてもらったら、大変重い腎臓病にかかっているといわれたのです。足がはれるのは運動不足ではなく腎臓病のためだったのですが、そんなことも知らないで無茶をやっていたのです。それが四年生の秋でした。それからすっかり寝込んでしまい、学校を休んだのです。それから五年生になっても一日も学校に出られないのです。五年生といえども当時は中学卒業の年度ですが、一日も学校には出なかったのです。しかし幸いにも学校では少し信用があったためでしょうか、同級生といっしょに卒業させていただいたのでした。